

人類最初の殺人事件

Cain and Abel

今日、わたしたちは麻薬やアルコールや銃などを犯罪の原因として問題視しています。でも、人類最初の殺人事件を起こしたのは麻薬や銃などではなく、それ以上の原因ともいえる「嫉妬心」(jealousy)のせいでした。嫉妬心は、肉体的に、精神的に、そしてあらゆる種類の方法で人間にとって脅威となるものです。

この人類最初の殺人事件の犯人は、アダムとイブの長男カイン(Cain)で、被害者は弟のアベル(Abel)でした。

殺害の動機は「嫉妬心」

楽園から追放された後、アダムとイブにはカインとアベルという二人の子どもが生まれました。兄のカインは農夫となり、弟のアベルは羊飼いとなりました。

ある日、カインは作物を主に捧げ、アベルはよく肥えた羊の初子^{ういこ}を捧げたところ、主はカインの捧げ物には目もくれず、アベルの捧げ物にだけ目を留めました。

たったこれだけのこと——アベルが神を喜ばせ、神が彼の味方をしたということ——だけで、カインは弟のアベルを殺害しました。アベルはカインに何も悪いことをしたわけではありませんでした。



カインは神以外に見ている者のいない野原で弟を襲いました。

Then Cain said to his brother Abel, “Let’s go out in the fields.” When they were out in the fields, Cain turned on his brother and killed him. (Genesis 4:8)

カインが弟アベルに言葉をかけ、二人が野原に着いたとき、カインは弟アベルを襲って殺した。(創世記4:8)

キリスト教の考えでは、カインもまた「原罪」を背負って生まれたのだということになります。つまり、カインは人類の祖先であり両親でもあるアダムとイブの罪を受け継いだ人類の第二世代であるがゆえに、何のためらいも感じることなく、弟のアベルを殺したというわけです。その結果、カインは「人類最初の殺人者」(the first murderer) と呼ばれるようになりました。

神が弟のアベルはどこにいるかとたずねたとき、カインはおそれることもなく、有名な言葉を口にしました。

I know not: Am I my brother's keeper? (Genesis 4:9) [King James Bible版]

知りません。わたしは弟の番人でしょうか。(創世記4:9)

カインは責任を逃れるようにして「わたしは弟の番人でしょうか」と言ったのです。この“Am I my brother's keeper?”という表現は、「わたしの知ったことではない」という意味で、今も日常の言葉として使われています。

自分が善良であると見せかけようとして悪行を否定する人のように、カインも嘘をついて否定しました。

ニュースで見る
聖書の英語表現

アダムとイブの子どもたち

DNA reveals our Adams and Eves

DNAが明らかにするアダムとイブの子どもたち

(Asahi Evening News、2000年5月14日)

これはAsahi Evening News紙に掲載されたThe New York Times紙の記事の見出しです。記事は次のように続いていました。

The book of Genesis mentions three of Adam and Eve's children: Cain, Abel and Seth. But geneticists, by tracking the DNA patterns found in people throughout the world, have now identified lineages descended from 10 sons of a genetic Adam and 18 daughters of Eve.

創世記はアダムとイブの子どもとして、カインとアベルとセトの3人をあげているが、遺伝学者たちは世界中の人々に見られるDNAの型を追跡調査して、今や遺伝学的アダムの10人の息子とイブの18人の娘の子孫の血統を明らかにした

アダムとイブの子どもは聖書では3人ですが、科学の力によって遺伝学的には、28人の子どもがいたということになります。